

S7.1 求核種と求電子種の用語について

求核種と求電子種の用語は，教科書によって求核試薬（求電子試薬），求核剤（求電子剤），求核体（求電子体）などと混乱している．英語では nucleophile (electrophile) と nucleophilic reagent (electrophilic reagent) の2種類の用語があり，使い分けられているにもかかわらず，文部省学術用語集（化学編）で両者を区別せずに“求核試薬（求電子試薬）”と規定していることに混乱のもとがある．“試薬”という用語はびんに入っている化学試薬を連想させ，異論が多く“反応剤”という用語が一般化している．その意味で nucleophilic reagent (electrophilic reagent) には“求核剤（求電子剤）”が適当だと思われるが，もっと分子的な視点の強い nucleophile (electrophile) には“求核種（求電子種）”が適切であると考えられる．これらは分子種と化学種という用語とも対応している．なお，本書でも薬品棚のびんに入っているような薬品は試薬と知っている．